

2024 年 11 月 10 日

## 2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人青少年の自立を支える会シオン

ホーム名 自立援助ホームみらい

代表者・役職名 氏名 理事長 水野 洋

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

自立援助ホームみらい 空調設置工事

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010 年 4 月に、自立援助ホームみらいを創設しました。報告書作成現在は、6 名の男児が入居しています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

昨年、部屋の改装工事で新たに作った居室にエアコンがない状況が続いております。今後 入居する青少年の受け入れを行い、快適な生活を過ごすことができるようエアコンの設置 は必要だと考えております。そして、応接室があるのですが、エアコンがないため冬と夏 は積極的に利用することができない状況です。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

現在、自立援助ホームみらいは、2つの居室と応接室の3つにエアコンの設置が必要です。 昨年の猛暑のように、エアコンが必須な時期があり、入居してくる青少年、職員の心身を守るためにエアコン設置が急務です。そのため、本格的な夏場になる前に今後受け入れる青少年のために、工事業者である新田工務店に依頼をして、3か所にエアコンの設置を行いたいと考えております。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

この度、本事業で得られた結果として、無事3台のエアコン設置を行い、今年の猛暑を乗り越えました。新しく入居をした子どもが生活する上で、健康の維持と職員の心身を守ることができました。また、エアコン設置により、スムーズに子どもの受け入れを行うことができました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

この度、プロジェクト実施に当たって、エアコン設置という児童の環境面での支援になりました。そのため、児童にとって自立につながるような支援を今後は考えていきたいと思ひます。

## 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

